

今年も6月下旬から小須戸まちづくりセンターに七夕かざりがお目見えしました。折り紙サークルの皆さんの協力を得て、小須戸小2年生から願



い事を短冊に書いてもらい1階ロビーに飾りました。7月10日までの期間中、多くの小学生が訪れ、思い思いの願い事を短冊に書いて飾っていました。その内容は、今どきのものから、いつの時代も変わらぬもので、本当に心とむもものばかりでした。短冊の一部を紹介します。「ユーチューバーになれますように」「好きな人とせきがえのときにとりのせきになれますように」「お母さんとお父さんがお金持ちになれますように」

☆みんなの願いがかないますように☆

七夕に願いを込めて

素敵な年の重ねかた

これからもずっと輝いているために心・身体・生活をもう一度見直し、整え直す方法を・・・あなたに!

9/14(金) ココロの整え方

ココロの不調に気づきコントロールする方法を学ぶ
講師：アンガーマネジメントシニアファシリテーター 立松 有美 さん

9/21(金) カラダの整え方

自分に合った疲労回復改善・予防の方法を学ぶ
講師：新潟経営大学 森-マサ子 小学科 安田 翼 さん

9/28(金) 生活の整え方

ライフプランの見直し方を学ぶ
講師：ファイナンシャルプランナー 石井 順子 さん

★時間 金曜夜の講座です
19:00~20:30

★場所 小須戸まちづくりセンター

★対象 成人 20名

★参加費 無料

★申込み締切 9月7日(金曜日)

◆お申込み・お問い合わせ◆
小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp
編集 公民館報編集委員会

こわいおはなし会

7月21日(土)小須戸まちづくりセンター1階の保育室で恒例の「こわいおはなし会」が開催されました。保育園児を中心に、子どもたち38人、大人14人が参加し、こわいおはなしを聞きました。

おはなしの後、手作りの蜘蛛のおもちゃが子どもたちに贈られました。

ボランティアグループ「おはなしポケット」は子どもたちがもっと『おはなし会』に来て、本を好きになってほしいと期待していました。



猛暑が続く7月24日午後、築堤前明治時代の水田村を復元する試みと題して、「水田の昔を懐かしむ会」が水田集落開発センターで行われました。

当日は、水田地区以外の方を含め、40名を超す参加者が集まりました。講師の木村宗文さん、青木達男さんから、明治の水田村の土地更正図と各家々の番地等が入った建物台帳をもとに、築堤によって多くの家が移転を余儀なくされた当時の水田村の様子をスライドを使って復元、説明し

明治の水田を懐かしむ

ていただきました。今でも、河川敷の旧住居跡を「ふるやしき」と称し、畑として耕作している家が多く、各々が先人の苦勞を偲んでいました。

公民館では10月に、地域学講座「語り継ぐ小須戸の文化」資料で楽しむ小須戸の歴史編を4回シリーズで行います。その中でも今回の資料をもとに、築堤前の水田村を復元」の講座を行います。奮ってご参加ください。



青春真つ盛り

「青春真つ盛り」

高校2年の夏、私は最後の部活動の大会を迎える。一般的に、高校最後の大会は3年の夏だが、私の学校の吹奏楽部は、高校3年の夏は受験勉強に専念するため、周りよりも一足早く最後の大会を迎える。

「最後」という言葉は、私にパワーを与える。同時に、これまでにないプレッシャー



花沢夢佳さん (小須戸)

が私を襲う。伝統・先輩からの期待・協力してくださった先生方や講師の先生方：逃げ

たくなるときもあるが、やるしかない。意地を見せてやる。その気持ちで日々練習に励ん

でいる。吹奏楽は団体競技であり、他のどの部活よりも、仲間と協力することが大切だと私は思う。出演番号2番。一言で言えば、不利だ。しかし、そんな状況でどれだけ私たちの精一杯の演奏ができるかが勝負どころだと思っている。8月2日・新潟テルサ、私の青春を出し切り、次の大会への切符をつかみたい。

暑さを吹き飛ばせ！ ニュースポーツ体験！

梅雨明けの7月14日(土)、矢代小学校3学年PTAと小須戸地区スポーツ振興会、秋葉区スポーツフィールド運営グループの共催で、「ニュースポーツ振興交流会」が小須戸体育館で行われました。

60名の参加者はニュースポーツのスリッパ卓球もアジャタも初めての方が多く、スポーツ推進委員やスリッパ卓球俱

楽部の皆さんから優しく丁寧に指導を受け、楽しくニュースポーツを体験することができました。

では、毎月第2、4火曜日19時~21時まで小須戸体育館で「スリッパ卓球教室」を行っています。興味のある方は、ぜひ一度見学、体験にお越しください。



※問合せ先 (携帯)090-3476-006 37小見

第73回県展 入選作品紹介

「第73回新潟県美術展覧会」(県展)に入選された作品を紹介いたします。

入選 書道部門

「古稀」

五十田 順さん
(小須戸)

「読める文字で自分のことばを書く」という作品で入選する事ができてとても嬉しいです。書で自分の気持ちを表現すると、しみじみ、これか、これも、続けて、書いて、きたい、と思っ、す。



入選 写真部門

「出番待ち」

風間ヤヨエさん
(新保)

祭りが出番を待っている様子を撮らせてもらいました。80歳を過ぎると視力、体力、思考力が衰えますが、楽しみながら撮影をして行きたいです。



入選 写真部門

「至福のとき」

野崎 義和さん
(横川浜)

どろんこになりながらも、気分よく飲み物を飲んでる若者を撮らせていただきました。



『秋葉区 区民ハイキング』参加者募集

～裏磐梯(松原湖畔遊歩道・五色沼自然探勝路)ハイキング～
開催日 10月13日(土)雨天決行
行き先 裏磐梯(福島県裏磐梯サイトステーション・松原湖畔遊歩道・五色沼自然探勝路ほか)
定員 先着45人(中学生以上)(最低催行人員30人)
参加費 1人当たり5,000円(交通費、保険料ほか)
(注意)参加費に食費は含まれておりません。
受付開始 午前5時30分から(両集合場所とも)
集合・出発時刻 小須戸出張所前 午前5時50分
秋葉区役所駐車場 午前6時00分
帰着時刻 午後7時00分ごろ(予定)
申込み 8月20日(月)から8月27日(月)まで
浦鉄トラベル白根店(電話:025-373-2183、営業時間:平日午前10時から午後7時まで)へ電話でお申込みください。ただし、定員になり次第締切ります。ハイキングの詳細については、新潟市スポーツ推進委員阿部(090-2638-8958)まで



もう一度 大好評につき!『秋葉区の学び』参加者募集

【桂家】って、どんな家?
秋葉区新津の歴史や発展にとっても関わりの深い「桂家」とは、いったいどのような家なのか?スライドや講師の話を聴き、最終日には街歩きをして「桂家」の実像に迫ります。なお、内容は、6・7月に行なった講座と同じです。
日時 ①9月28日(金)「桂家がやってきた」
②10月5日(金)「桂家がやけた」
③10月13日(土)「桂家を探して歩く」
時間は①②は午後6時30分～8時30分、③は午前10時～12時
会場 新津地域交流センター
※詳しい内容は新津地区公民館にお問合せください。
定員 成人の方(初めて受講される方、優先)で20名(申込多数の場合は抽選)※参加費無料
申込受付 9月5日(水)午前9時～9月13日(木)午後5時まで
申込・問合せ 新津地区公民館 ☎0250-22-9666

小須戸地区図書室新刊案内

- 【一般書】
- ・極上の孤独 (下重暎子)
 - ・友だち幻想 (菅野仁)
 - ・図解わかる年金2018-2019年版 (中尾幸村)
 - ・手仕事のあるこだわりバック (ブティック社)
 - ・暮しの手帖のクイックレシピ (暮しの手帖編集部)
 - ・主役は、ごちそうおにぎり (Tesshi)
 - ・幸せになりたければねこと暮らさない (樺木宏)
 - ・さざみのよる (木皿泉)
 - ・たゆたえども沈まず (原田マハ)
 - ・あやかし草紙 (宮部みゆき)
- 【児童書】
- ・にゅうどうぐも (野坂勇作)
 - ・さんさんさんぼ (えがらしみちこ)
 - ・ざんねんないきもの事典[正] (今泉忠明)
 - ・ざんねんないきもの事典 続 (今泉忠明)

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム)可。電話番号を明記し、8月24日(金)までに小須戸地区公民館へ。

俳句・川柳・短歌募集

<p>幾とせも燕巣作り巣だちかな 親鳥庭木で子鳥呼び待つ 夕映えの暮れゆく一人寂しさを あなたは知るや空のあなたで 人気がなき夜道を踊りさらいつつ くるり廻れば月が見ていた 画面見て他人事でないと思ひ知る 大河に挟まれ暮らす我が身は</p>	<p>こみけ 高橋キヨ 吉田まつえ 玲泉</p>	<p>奉和 風間源一郎 増井都留 能登としお 保科志枝 浄栄 会田修 園児らの短冊の夢風に揺れ 七夕に今年も無事と祈ります 笹竹に嫁が欲しいと母の文字 七夕に祈る平和な二度童子</p>	<p>川柳 七夕に今年も無事と祈ります 笹竹に嫁が欲しいと母の文字 七夕に祈る平和な二度童子</p>	<p>俳句 陽をいっばい青田大きく深呼吸 梅雨の空千変万化雲流る 夏柳憩ふ母子に風渡る 隣家に嬰の生まるる夏つばめ 声立てて笑ふ幼子風薫る みちのくの峡の露天湯はたる舞ふ 日ざし受け気ままに伸びる立葵 青梅のしきりに落ちて父惚ぶ 青梅の旨み秘めたる甕の中 茄子漬の紫紺に女冥利かな</p>	<p>中野太浪 間野えり 熊倉ひろむ 吉澤文子 本多玲子 馬場綾子 丸山紀子 風間幸子 吉田松子 佐久間久子</p>
--	--------------------------------------	--	--	--	--

文芸欄

矢代田小学校2年生との交流会

7月19日(木)地域の茶の間「いこてば、こいてば、ふれあい会館」と矢代田小学校2年生の交流会がありました。まずは、地域の茶の間の参加者が学校へ足を運び、児童が縦割り班で校内の掃除をする姿を見学しました。班長である6年生が低学年に掃除のやり方を教えたり、ていねいに雑巾がけをする姿を見て、参加者はとても感心していました。また、校内のあちこちでは児童が「こんにちは」と元気よく挨拶する声が響いていました。その後、会場をふれあい会館に移し、PPK48による体操や輪投げを楽しみました。地域の茶の間参加者と2年生の混合2チームに分かれて対戦した輪投げでは、白熱した戦いが繰り広げられ、ふれあい会館の壁が震える程の大歓声があがりました。孫のような小学生とふれあい、暑さも吹き飛ばす楽しいひとときとなりました。



山の手コミュニティ協議会

福祉バス研修「水上バスで行く新潟市・水の旅」 私たちがどのような仕組みに支えられているか[上下水道]

6月26日快晴、「暮らしと上下水道」をテーマに、個人ではなかなか見学することができない信濃川浄水場と中部下水処理施設を、32人で巡ってきました。信濃川の水を私たちに欠かせない飲み水にまでする浄水処理と、生活で使った排水を魚が住めるまでにする下水処理、私たちの暮らしはこのような仕組みで支えられていたのですね! 今まであまり気にせず使っていた上下水道が、ここまで大変な時間と費用をかけて処理されていることを知り、これからは水を無駄にせず、必要以上の洗剤や薬品等を使わないようにしなければ...と参加者一同強く心に感じた学習会でした。



小須戸コミュニティ協議会